



リサイクル分取HPLC
LaboACE LC-5060

シリカ系カラムで分離困難な化合物の分離例 2

Keyword:

GPCカラム、SECカラム、サイズ排除分離、リサイクル分取

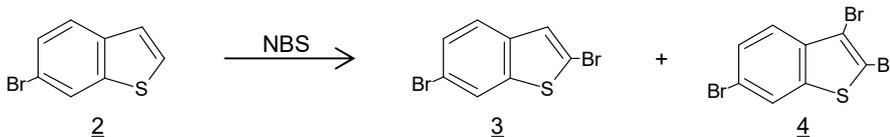
緒言

シリカ系充填剤に対して不安定な化合物や、TLCで分離が困難だと判断された化合物の分離検討の際、GPCカラム (SECカラム) とリサイクル分取HPLCの組み合わせは、有効な分離手段となる場合が多い。当社製リサイクル分取HPLCをご愛用頂いている先生方の実試料の分離事例をご紹介します。

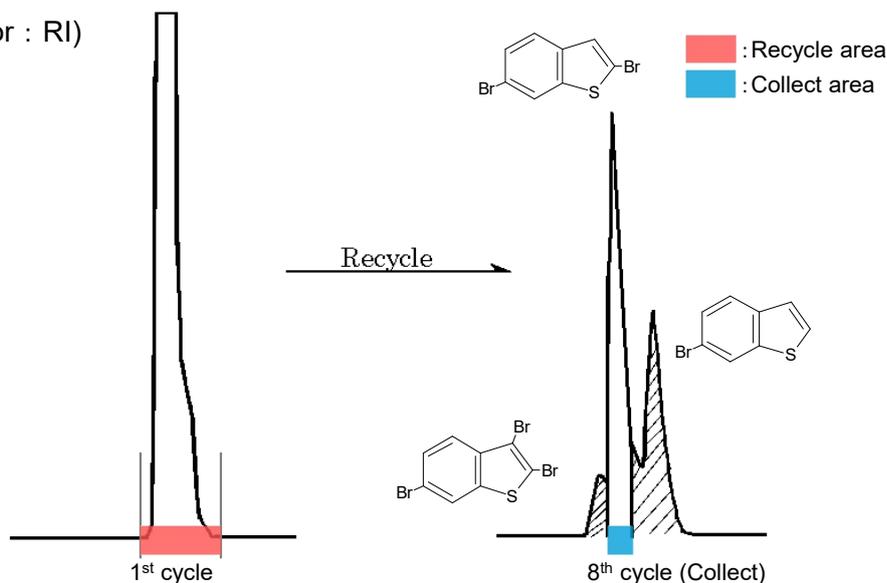
実験・結果

合成中間体として **3** を得る目的で **2** を NBS で臭素化を行ない **3**、**4** を得た。

これらの化合物は TLC ではわずかに分離することができるが、順相シリカクロマトでは分離することができず、また 2 位のブロムが不安定となる為、ポリマ系 SEC カラムである JAIGEL-GS310 でのリサイクル分離を行なった。



Instrument : LC-908 (Detector : RI)
Column : JAIGEL-GS310
Mobile phase : Chloroform
Flow rate : 4.0 mL/min



Isolation of 2,6-Dibromobenzothiophene from reaction products.

結論

8 回リサイクル分析を行うことによって、原料 **2** と臭素化の進行しすぎた **4** を除くことができ、純粋な **3** を得ることができた。

References

By the courtesy of DR. Yoshio Aso, Hiroshima University